

みなさん、こんにちは。

記者の皆様には、お忙しい中、本日の定例記者会見にご出席いただき、誠にありがとうございます。

本日の記者会見では、私から4つの項目について発表させていただきます。

はじめに、既存ストック有効活用による市営住宅再生プロジェクトについてです。記者会見資料①の1ページをご覧ください。

公営住宅制度は、住宅に困窮する方に対し、セーフティネットとして国や地方公共団体が低廉な価格で住宅を提供するための制度として住民の暮らしを支えてまいりました。

従前は世帯向け住宅を中心に、一定の役割を果たしてまいりましたが、時代や住宅ニーズの変化により、近年は応募のない住戸が増加、空き室の発生が課題となっております。

当市では、こうした状況を踏まえ、公的なストックとしての市営住宅を有効活用するため、空き室を転入・定住促進や福祉事業などの用途として利活用し、地域に新たな価値やつながりを生み出す取り組みを実施いたします。併せて、「親子特区！！うしく」として、親子を支援する視点も含めて事業に取り組んでまいります。

資料3ページをご覧ください。

この制度は、これまで公営住宅として、一定以下の収入など入居要件があった利用方法について、一部の市営住宅を目的外使用として、市外から転入する18歳未満の子どもがいる親子世帯や、大学生等の学生向け住まいとして提供するとともに、子ども食堂や福祉相談所など福祉的な活動の場としても利用いただけるよう見直しを行いました。

また、これまで原状回復が前提となっていた制度も併せて見直しを行い、利用者自身による住居のDIYを可能といたしました。「自ら手を加え、住まいをつくる楽しさ」を体験できる環境を提供することにより、ライフスタイルに合わせた住まいづくりが可能となります。こうしたDIYの導入や、市外からの親子世帯を収入要件なく受け入れる点は、公営住宅として“県内初の取り組み”です。

家賃はすべての利用において月額1万円と、利用しやすい水準に設定しており、本事業への参加のハードルを下げ、多様な主体による活用を促進してまいります。

今回、対象としたのは、南裏第2住宅と神谷住宅1号棟と2号棟であり、昭和48年から昭和51年に建築された住宅で、今年度6月より募集を開始いたします。

DIY可能住宅と低廉な家賃設定を組み合わせることで、親子世帯の負担軽減と柔軟な住環境の実現、学生の将来的な定住促進、さらに福祉的な事業利用による地域コミュニティの活性化が期待されます。

本プロジェクトにより、市営住宅のストック有効活用を図りながら、転入・定住促進と福祉機能の充実、地域コミュニティの活性化を進め、地域の活力向上につなげてまいります。

次に、牛久州市制施行40周年記念式典の開催についてです。記者会見資料②の2ページをご覧ください。

当市は、本年6月1日に市制施行40周年を迎えます。その節目として市の歴史や文化、市民が築き上げた功績を振り返り、さらなる発展を願うため、式典を開催致します。開催日時は6月27日（土曜日）10時から、場所は牛久市中央生涯学習センターにて執り行います。

資料3ページをご覧ください。

式典は午前、午後の2部構成とし、第1部では市民の皆様とご来賓をお招きしての記念式典を行います。また、市公式キャラクター「かっぱのキューちゃん」投票結果の発表や、「うしくとわたしのフォト&エピソードコンテスト」の受賞者表彰式を併せて実施いたします。

さらに、市内7校の小学校と義務教育学校前期課程の生徒が「10年後の牛久と自分」をテーマにした総合学習の授業や発表の様子などを収めた動画の上映や、市内4校の中学校及び義務教育学校後期課程代表生徒が「ふるさと牛久」に関する提案のプレゼンテーションを行います。

第2部につきましては、前半で、市内ダンス教室で活躍する小・中学生による発表を行うほか、高校生による書道やダンスパフォーマンスを披露いたします。

後半では、^{クイズノック}QuizuKnockとしてテレビ出演やYouTubeで活躍する、^{すがい}須貝 ^{しゅんき}駿貴さんと^{やまもと}山本 ^{よしあき}祥彰さんにご出演いただき、牛久市にちなんだ問題を出題する「牛久クイズ王決定戦！」を開催します。

クイズ王決定戦はスマートフォンを使用して行い、参加者がクイズ番組に参加しているような気分を味わうことができます。

クイズの内容は市の歴史や文化などに焦点を当て、楽しみながら牛久市を振り返る特別な機会となる催しとしております。

第1部はどなたでもご来場いただくことができますが、第2部は申込制となりますのでご注意ください。

本年度は、この式典以外にも、年度を通して、様々な記念企画を実施する予定です。詳細につきましては随時プレスリリースにてお知らせいたしますので、ぜひ取材方お願い申し上げます。

次に牛久市市制施行40周年記念事業「近隣公園壁画制作お披露目式」の開催についてです。記者会見資料③の2ページをご覧ください。

牛久市市制施行40周年記念事業のひとつとして、県立牛久高等学校、県立牛久栄進高等学校、つくば開成高等学校、東洋大学附属牛久高等学校の4校の美術部員等の皆様にご協力いただき、近隣公園ステージ上に壁画を制作いたしました。

資料3ページをご覧ください。

この壁画は、「春夏秋冬」をコンセプトに、市の観光名所や特産品、イベントなどの特徴を取り入れており、学校の垣根を超え一つの作品となるように学生の皆さんがデザインを考えてくれました。

令和7年4月より壁画のコンセプトやデザインについて協議を重ね、令和8年1月より実際に制作を開始、色とりどりの壁画が令和8年3月末に完成いたしました。

資料4ページをご覧ください。

壁画制作の完成を記念し、令和8年5月3日（日曜日）近隣公園ステージにてお披露目式を開催いたします。

お披露目式では、除幕ならびに制作校生徒が活動報告のスピーチを行います。

最後に、第37回うしく・鯉まつりの開催についてです。記者会見資料④の2ページをご覧ください。

「うしく・鯉まつり」は、「こどもの日」にちなみ、子どもたちが色とりどりの鯉のぼりを背に、催しの中で楽しい思い出をつくり、人と人とのふれあいをとおして思いやりの大切さを学ぶ機会を設けることを目的としております。

毎年5月3日に実施しており、今年度も5月3日（日曜日）に牛久市役所西側近隣公園を会場として開催いたします。

また、今年度より雨天の場合には中止となりますので、HP等で情報をご確認ください。

当日は、夢・希望・創造の広場、各団体による自由の広場にて色々なあそびや出展を行うほか、会見項目③の「近隣公園壁画制作お披露目式」を同日開催しております。

さらに、今年度から初めて出展するブースもございますので、ぜひお楽しみください。

壁画のお披露目と併せて、多くの皆さまのご来場をお待ちしております。

私からの発表は以上です。